

石野地区まちづくり計画

【基本計画編】



石野地域会議は、私たちの住む石野の未来を皆さんと共に創り出したいと思っています。その実現のため、石野の皆さんの声をききながらまちづくり計画の策定に取り組みました。

主な内容

- ①石野地区が、将来的にどんな暮らしができる地区になっていったらよいか
(めざす将来の暮らしの姿、方向性)
- ②めざす将来の暮らしの姿、方向性に向けて、私たち住民が中心となって取り組んでいくこと(取組案)

私たち一人ひとりが主役となり、石野地区の明るい未来を築いていきましょう!

石野地域会議

まちづくりの基本理念

石野地域会議では、地域の課題を話しあい、まちづくりの基本理念を設定しました。

石野地区は美しい自然と歴史に恵まれ、住民同士のふれあいが豊かな地域です。しかし、現在は人口減少・高齢化が進んでおり、地域社会の持続にとって大きな課題になりつつあります。

石野地区の良さを守り磨きながら、災害、犯罪、健康、交通手段、子育てなど、生活環境面の心配がなく、石野地区で生まれ育った人がこれからもずっと住み続けたいくなる、訪れた人が住んでみたいと思う、魅力あるまちを目指していくことが必要と考えました。

基本理念

住み続けたい 住んでみたくなる
魅力あるまち・石野

●目指す将来のイメージ例



地域のイベント・団体の活性化



豊かな自然を活かした地域の魅力向上



新規転入者の増加とふれあいのあるまち



伝統文化の保存と継承

まちづくりの方針

基本理念を実現するため、3つのまちづくり方針をまとめました。

※〈 〉内の番号は、次ページ以降の「取組の内容」に対応しています。

まちづくり方針 1 **い** つまでも活力のあるまち

私たちのふるさと石野地区の良さを残していくため、子どもたちの石野地区への愛着を育くむとともに、地域の住まいの情報を発信するなど定住や転入を促進します。また、多世代、同世代の地域住民のふれあいを充実させるとともに、時代に対応した地域の仕組みづくりに取り組み、老若男女が暮らしやすい持続可能な地域づくりを進めます。〈⇒ (1) **持続可能な地域づくり**〉

歴史や自然、文化や既存の施設、農業などの豊かな地域資源を存分に活用し石野地区外にも魅力を発信して、元気な石野づくりに取り組みます。〈⇒ (2) **元気な石野づくり**〉



まちづくり方針 2 **し** ょうらいも安心のまち

日頃から災害や犯罪への意識を高め、地域が連携し、緊急時にも安心して生活できる地域づくりを進めます。〈⇒ (1) **安心・安全の地域づくり**〉

また、病院、学校、店舗等が遠い人でも不便なく生活できるよう、住民がお互いに協力しながら、移動手段や生活利便性の確保に努めます。〈⇒ (2) **暮らしやすい地域づくり**〉

近くに見守りあえる、支えあえる人がいる暮らしは大きな安心を得ることができます。子どもから高齢者までが暮らしている地域、三世代がふれあえる地域をめざします。〈⇒ (3) **つながりを活かした地域づくり**〉



まちづくり方針 3 **の** びのびと人が輝くまち

経験豊富で知識や技術をもった人々をはじめ、新たな人材の発掘や能力向上の機会をつくり、住民誰もが活躍する場をもつほか、既存の団体やイベントを連携させ、人が輝くまちづくりに取り組みます。

〈⇒ (1) **人が活躍する地域づくり**〉

また、地域で子育てを見守り、子育てを支援し、子どもの声が響き渡る石野地区をめざします。

〈⇒ (2) **子どもがいる地域づくり**〉

住民が心や体の健康に関心をもち、地域ぐるみで健康の維持に取り組みます。障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが暮らしやすいまちをめざします。〈⇒ (3) **いきいきと暮らせる地域づくり**〉



取組の内容

それぞれのまちづくり方針のもとで、分野ごとに現在の課題、方向性、取組案を示しました。

まちづくり方針 1 いっまでも活力のあるまち

(1) 持続可能な地域づくり

①

定住・転入 促進

- 課題** 人口が減少し、集落の維持が難しくなっている。
- 方向性** 石野地区の各集落が人口維持・増加対策に取り組んでいく。
- 取組案**
- ◆地域で育った子どもに地域の良さを伝えよう!
 - ◆石野地区を訪れた人に地域の良さを伝えよう!
 - ◆地域の住まいの情報や、暮らし方を発信しよう!
 - ◆定住を推進する主体をつくろう!

②

住民の つながり づくり

- 課題** まちづくりの出発点として、住民どうしのつながりが必要である。
- 方向性** 住民みんながつながっているまちにする。
- 取組案**
- ◆新しい住民と従来からの住民、子どもから高齢者まで、みんながふれあえる機会を充実しよう!
 - ◆子育てお母さんなど同世代で集まることができる機会をつくろう!

③

持続可能な地域の 仕組みづくり

- 課題** 現在の地域活動の負担に偏りがないか。
- 方向性** みんなが役割を担える自治活動の仕組みをつくる。
- 取組案**
- ◆区費やお役など自治活動の仕組みを多世代で考えよう!
 - ◆他の地域の自治活動の状況や、工夫していることなどを共有しよう!

(2) 元気な石野づくり

①

歴史・文化 の継承

- 課題** 豊かな歴史と文化、自然が十分に知られていない。
- 方向性** 石野地区の歴史・文化や自然を、地域の誇りとして子どもや孫に引き継いでいく。
- 取組案**
- ◆石野地区の歴史・文化や自然の特徴などを整理しよう!
 - ◆子どもや新しい住民に地域の歴史・文化、自然を伝えよう!
 - ◆歴史・文化や自然を引き継ぐ担い手を育てよう!

②

農を活かした まちづくり

- 課題** 石野地区の農地や森林が十分に活用されていない。
- 方向性** 美味しい農産物や農業ができることを石野地区の魅力としていく。
- 取組案**
- ◆石野地区の農産物を提供できる機会を充実しよう!
 - ◆農をやりたいと思う人が農地を使える仕組みをつくろう!
 - ◆農産物を育てている人がやりがいを感じられる仕組みを考えよう!

③

石野地区の 魅力発信

- 課題** 石野地区のイメージが定まっていない。
- 方向性** 石野地区の魅力を、地区内で共有して、みんなが地区外の人に伝えていく。
- 取組案**
- ◆石野地区の魅力を発掘して、共有しよう!
 - ◆パンフレットやインターネットなど、様々な方法で石野地区の魅力を発信しよう!

④

既存施設の 有効活用

- 課題** 石野地区の既存施設が十分に活用されていない。
- 方向性** みんなの住民活動を盛り上げるため、既存施設を活用する。
- 取組案**
- ◆地域に必要な機能を考えて、既存施設を活用して実現しよう!
 - ◆地域の施設を住民が主体的に管理運営する仕組みをつくろう!

(1) 安心・安全の地域づくり

①

災害への
備えの充実

課題

地震や水害など将来の災害への不安がある。

方向性

災害時に備えて、被害を出来るだけ小さくするための取組を行う。

取組案

- ◆住民の防災に対する意識を高めるため、災害について啓発しよう!
- ◆防災マップと防災マニュアルを活用して、住民があらかじめ災害時の危険箇所を把握し、共有しよう!
- ◆防災訓練を実施しよう!
- ◆災害時に地域内で機能する仕組みや地域間で連携する仕組みをつくろう!

②

安心・安全な
環境づくり

課題

交通事故や犯罪への不安がある。

方向性

子どもや女性など誰もが安心して歩ける環境をつくる。

取組案

- ◆死角など危険箇所を確認・共有し、取り除くように努めよう!
- ◆みんなで子どもの登下校時の見守りを行おう!

(2) 暮らしやすい地域づくり

①

利用しやすい
移動手段の確保

課題

高齢者や子どもにとって移動手段が乏しい。

方向性

地域全体で移動手段を確保する。

取組案

- ◆移動手段をみんなで確保する意識を高めよう!
- ◆みんなでバスを利用しよう!
- ◆みんなが利用しやすいバスのあり方を考えよう!
- ◆バス以外の移動の方法を検討しよう!

②

生活利便性
の確保

課題

石野地区内に生活利便施設が乏しい。

方向性

地域内で生活できる環境づくり。

取組案

- ◆病院や商業施設、金融機関など地域にある生活利便施設をみんなで利用しよう!
- ◆生活利便施設の確保に向けて地域で取り組もう!
- ◆ITが便利に利用できる環境をつくろう!

(3) つながりを活かした地域づくり

①

三世代暮らし
の推進

課題

核家族化が進み、世代間の支えあいが弱まっている。

方向性

近所で世代の違いを活かして互いに生活を支え合える関係をつくる。

取組案

- ◆石野ならではの三世代の暮らしを発信しよう!
- ◆日常における世代間のふれあう機会をつくろう!
- ◆様々な世代が転入できる場所を提供しよう!

(1) 人が活躍する地域づくり

①

人づくり

- 課題 地域を支える人材が不足している。
- 方向性 地域のために自分の長所を活かして活動する人を増やす。
- 取組案
 - ◆地域の課題に取り組む新たな人材を発掘しよう!
 - ◆一人ひとりの能力向上を図る機会を提供しよう!

②

生涯現役のまちづくり

- 課題 個人の意欲や能力と、まちづくり活動をつなぐ機会が少ない。
- 方向性 誰もが自分の役割を感じ、互いに認めあえる地域にする。
- 取組案
 - ◆年齢・性別に関わらず、一人ひとりの魅力や能力を発揮できる機会をつくろう!
 - ◆住民ひとりひとりが活躍する様子を住民に知ってもらおう!
 - ◆地域の団体が活躍する様子を住民に知ってもらおう!

③

イベント・団体の活性化

- 課題 地域の活動があまり知られず、それぞれの活動が単発的である。
- 方向性 既存の活動団体やイベントなどをみんなで育て、連携しながら活性化させる。
- 取組案
 - ◆イベントや団体の情報について住民に発信しよう!
 - ◆既存の活動団体のネットワークをつくろう!

(2) 子どもがいる地域づくり

①

子育ての環境づくり

- 課題 地域に子どもと大人達がふれあう機会が減っている。
- 方向性 地域に愛着を持つ子どもを育てる。
- 取組案
 - ◆みんなで子どもの登下校時の見守りを行おう!
 - ◆地域が子どもの学びを支援しよう!
 - ◆子どもが身近なところで思いきり遊ぶことができる環境をつくろう!

②

子育て支援の充実

- 課題 地域の将来の担い手となる子どもが減少している。
- 方向性 石野地区ならではの子育て世帯が暮らしやすい地域をつくる。
- 取組案
 - ◆子育てお母さんなど同世代で集まることができる機会をつくろう!
 - ◆子育て世帯の負担軽減を考えた地域の仕組みをつくろう!
 - ◆住民の支えあいでの子育てを支援する仕組みを考えよう!

(3) いきいきと暮らせる地域づくり

①

健康と体力づくり

- 課題 地域の高齢者の増加に不安を感じている。
- 方向性 生涯現役、心も身体も元気を維持できる地域にする。
- 取組案
 - ◆ウォーキングコースなど気軽に健康づくりに取り組むことができる場をつくろう!
 - ◆ラジオ体操を始めるなど、地域ぐるみで健康づくりに取り組もう!
 - ◆子どもやお母さんをはじめ、みんなで食の大切さを学び、健やかな食生活を送ろう!

②

障がい者が暮らしやすいまち

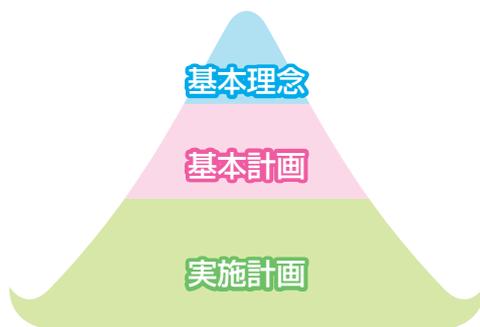
- 課題 地域の障がい者たちの生活がよく知られていない。
- 方向性 心身の状況に関わらず、誰もが安心していきいきと生活できるまちにする。
- 取組案
 - ◆障がい者の生活などに対する理解と交流を深めよう!
 - ◆身近なところから心のバリアフリーに努めよう!
 - ◆障がい者などに対して地域住民ができる支援を行おう!

石野地区まちづくり計画の実現に向けて

石野地区まちづくり計画の策定経過と今後

H23年度	まちづくり将来構想の策定を提案
H24年度	住民アンケートの実施、まちづくり基本理念の設定
H25年度	まちづくり計画策定部会の設置、転入者懇談会の開催、まちづくり基本計画の策定
H26年度	まちづくり実施計画をみんなでつくろう!
H27年度	皆さん一人ひとりが、まちづくり実施計画をすすめよう!

石野地区まちづくり計画の構成



石野地区まちづくり計画は、「基本理念」、「基本計画」、「実施計画」で構成しています。

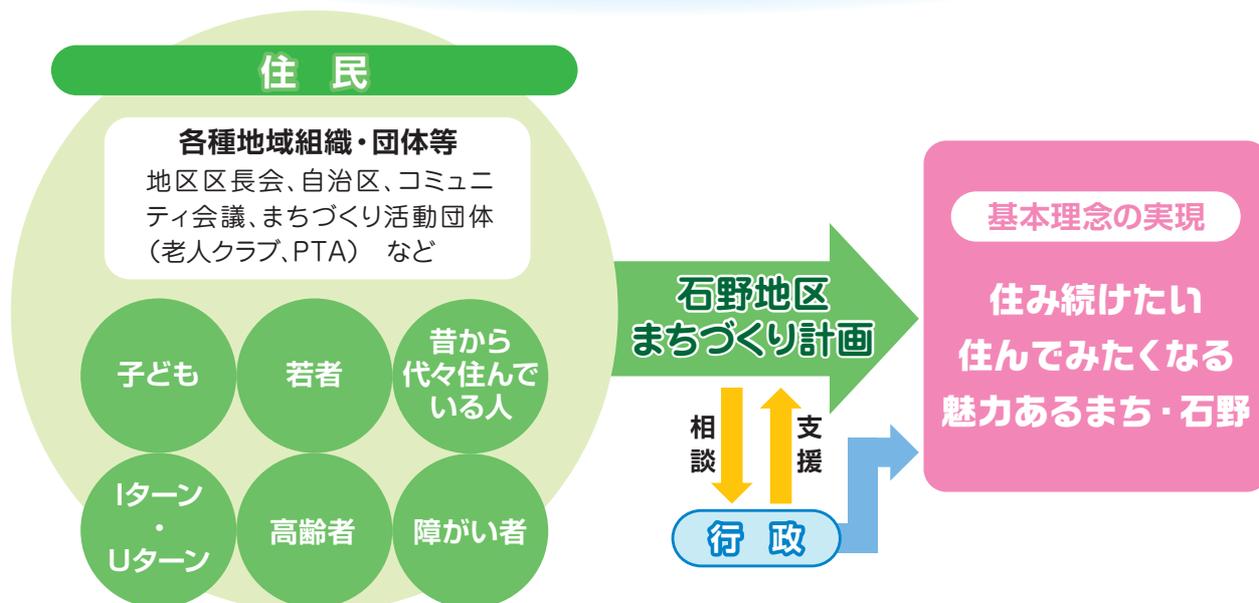
基本計画では、基本理念の実現に向けたこれから10年間(平成27年度～平成36年度)のまちづくりの方向性をまとめています。また、実施計画では、具体的な取組内容をまとめます。

今後、計画の推進を管理するとともに、石野をとりまく状況を見ながら、必要に応じて見直しを行います。

まちづくりの推進

これからの石野地区のまちづくりは、

石野地区に住むすべての住民一人ひとりが身近にできることを実践するとともに、行政とも共働しながら進めていきます。
石野の明るい未来に向けて一緒に取り組みましょう!



石野地区まちづくり計画【基本計画編】

発行 平成26年3月 石野地域会議
 事務局 豊田市社会部猿投支所

連絡先 〒470-0373 豊田市四郷町東畑70-1
 TEL (0565) 45-1214 FAX (0565) 45-4824
 E-mail sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp